

天災は忘れた頃にやってくる

～避難・防災訓練～

10月23日（木）午後、「丹後地方に震度7以上の地震が発生し、その後校舎内から出火し、延焼の恐れがあるため」という想定で、避難訓練を行いました。火災発生ベルが鳴り続ける中、245名の生徒と教職員が静かにかつ素早く行動し、約6分間でグラウンドへの避難を完了し、京丹後市消防本部久美浜分署の副署長さんから指導・講評をいただきました。

その後、1年生は消火器使用訓練、2年生は救助袋使用訓練、3年生は放水訓練をそれぞれ実施しました。

いつ、どこで起こるかも知れない自然災害（地震・火災・水害・津波など）に備え、いろいろなことを想像し、命を守ることを第一に行動をシミュレーションすることは非常に大切なことです。今日のことを教訓にしたいと思います。京丹後市消防本部久美浜分署の職員の方々、御指導ありがとうございました。

